

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371301165
事業所名	グループホーム集い

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、会費を納めている。回覧板を通じて地域情報の収集や地域ぐるみの付き合いをしている。利用者は散歩時に近隣住民と挨拶やペットと触れ合う機会があり、地域の一員として認知されている。ホーム周辺の落ち葉拾い等を率先して行ったり、高齢者介護に関する相談を受け付け、適切なアドバイスをする等、専門知識を活かし地域に根差した活動を行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は規定通り年6回開催し、地域との協働関係を構築している。今年度は感染対策で書面での開催とし、構成員である自治会長、包括職員、家族には議事録を送付し運営の実情を伝え、協働関係を継続させている。会議の内容は職員全体に周知し、運営に反映しサービスの改善や向上に努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区生活保護課とは、何かあれば電話や直接出向き相談して、問題解決、サービス改善に向けてアドバイスをもらい連携関係を構築している。また、担当者がホームに来所して生活の実情を知ってもらう機会もある。区主催の研修の情報がFAXで届き、認知症ケアや口腔ケアに関する研修の参加があり、職員の育成に役立っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱を設置し、意見や要望を受け止める仕組みがある。ビデオ通話や毎月のお便りにて日常の様子を伝えたり、電話や面会等での来所時に意見や要望を開き支援に反映しており、相互に信頼関係を深めている。利用者の要望は普段の様子から引き出し、職員間には記録で共有し即改善したり、職員会議で話し合い検討してサービス向上に努めている。また推進会議では「入居者様のお声」として利用者の意見を広く伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								